

防水材用水性2液形ウレタン樹脂太陽光高反射塗料

水性ボウスイトップCOOL

水性ボウスイトップCOOLは、環境・簡単・簡略・遮熱をキーワードに開発された、
ウレタン塗膜防水材用水性トップコートです。

新設・塗替えの各種ウレタン塗膜防水材に直接塗装可能です。

水性ボウスイトップCOOL

特 長

プライマーレス(工程簡略)

新築・塗替えの各種ウレタン塗膜防水材に直接塗装ができます。
プライマーを塗装しなくても、上塗材の付着性は良好で塗膜の粘着も生じません。

高 耐 久 性

ウレタンアクリルハイブリッドエマルジョンを使用することにより、
長期にわたり防水層を保護します。

優れた遮熱効果

太陽光を反射することにより、塗膜表面の温度上昇を緩和します。

環境対応仕様

ワンツーボウスイECO、水性ボウスイプライマー ECOとの組合せにより
環境対応仕様の設定が可能です。

各種防水層への塗装が可能

下塗りを選択することにより、
ゴムシート、アスファルトシートへの塗装が可能です。

用 途

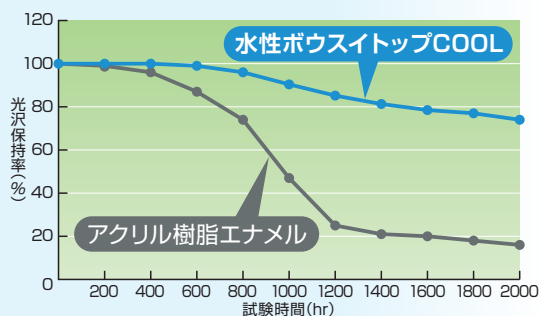
ウレタン塗膜防水材の上塗り
ゴムシート、アスファルトシート防水材の保護、美装(下塗り使用)

塗膜性能

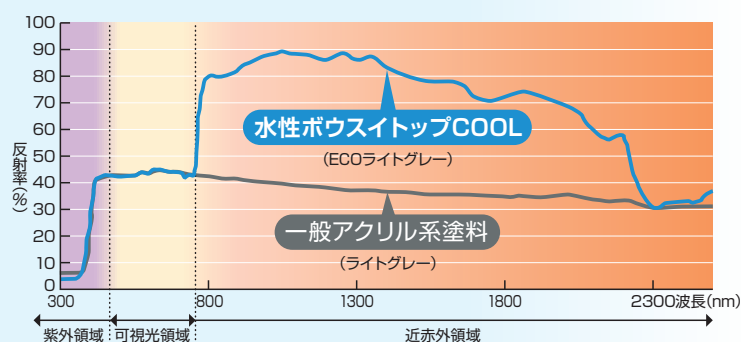
試験項目	水性ボウスイトップCOOL	品質規格・試験方法
容器の中での状態	異常なし	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。
低温安定性(-5℃)	異常なし	変質しないものとする。
塗装作業性	異常なし	2回塗りで、はけ塗り塗装作業性に支障があってはならない。
塗膜の外観	異常なし	塗膜の外観が正常であるものとする。
鏡面光沢度(60度)	83	JIS K 5600-4-7
付着性	0	JIS K 5600-5-6 クロスカット法(0:カットの縁が完全に滑らかで、どの格子の目にもはがれない。)
ウレタン防水材上でのタック	異常なし	80℃14日後指蝕。著しいタックがないこと。
耐水性	異常なし	水浸漬7日間。試験片に、割れ、はがれ、膨れ、白化などを認めないこと。
耐アルカリ性	異常なし	水酸化カルシウム飽和水溶液浸漬7日間。試験片に、割れ、はがれ、膨れ、白化などを認めないこと。
耐酸性	異常なし	5%硫酸水溶液浸漬7日間。試験片に、割れ、はがれ、膨れ、白化などを認めないこと。
耐温水性	異常なし	50℃温水浸漬7日間。試験片に、割れ、はがれ、膨れ、白化などを認めないこと。
耐湿潤冷熱繰返し性	異常なし	JIS K 5600-7-4 試験片に、割れ、はがれ、膨れ、白化などを認めないこと。
促進耐候性	異常なし	JIS K 5600-7-7 試験片に、割れ、はがれ、膨れ、白化などを認めないこと。

促進耐候性試験結果

(キセノンランプ法)

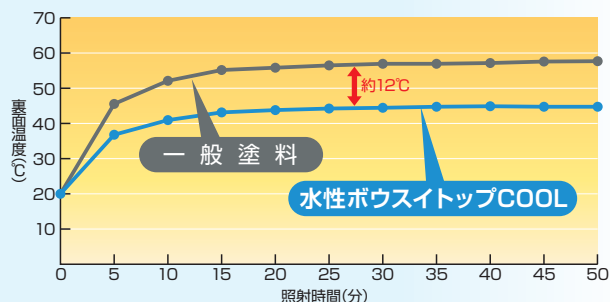


塗膜の反射率



● 遮熱性能

実験室内で塗材の塗膜表面にランプの光を当て、経時的に素材表面温度を測定



● 可使時間

温度	可使時間	
	水性ボウスイトップCOOL	水性ボウスイプライマーECO
10℃	10時間	70分
23℃	6時間	40分
30℃	3時間	25分

注)・可使時間を過ぎた塗料は使用しないでください。可使時間を過ぎてても塗料状態に変化はありませんので可使時間に注意してください。
・可使時間を過ぎた塗料を使用しますと付着不良、塗膜の粘着を生じます。

● ウレタン塗膜防水材標準施工仕様(環境対応仕様)

〈遮熱・工期短縮水系トップコート仕様(軽歩行)〉

工 程	塗 材	調 合 (重量比)	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗回数	間隔時間(23℃)			施工方法
					工程内	工程間	最終養生	
下地調整	・下地は十分乾燥していること(含水率10%以下、pH10以下) ・突起物、レイトンス、砂、塵埃などをすべて取り除き、油脂分などは溶剤で拭き取る。 ・段差、不陸はラバモルベランダ用Rで平滑にする。 詳細は施工マニュアルをご参照ください。							
下塗り ※1	水性ボウスイプライマー ECO (A液：B液=8：8) 清水	100 0～8	0.13～0.15	2	1～24 時間	3～24 時間	—	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り
防水材 ※2	ワンツボウスイECO (A剤：B剤=6：12)	100	1.0～1.3	2	16～72 時間	24時間 以上	—	ゴムベラ 金ゴテ ウールローラー塗り
上塗り	水性ボウスイトップCOOL (主剤：硬化剤=13：2) 清水	100 3～6	0.12～0.15	2	3時間 以上	—	24時間 以上	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り

※1 下塗りにスズカボウスイプライマー、ボウスイプライマーECOも使用可能です。 ※2 防水材にスズカボウスイも使用可能です。

● ウレタン塗膜防水上塗材塗替仕様

工程	塗料	割合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
下地調整	劣化している既存塗膜、ごみ、汚れなど水洗浄にて除去後、十分に乾燥させる。					
上塗り	水性ボウスイトップCOOL (主剤:硬化剤=13:2) 清水	100 3~6	0.12~0.15	2	(工程内) 3時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り スプレー塗り

注)・事前に試し塗りを行い、付着性を必ず確認してください。・既存塗膜がシリコン樹脂系・ふっ素樹脂系塗料の場合、またはシルバー色仕上げの場合は塗装を避けてください。

● 各種シート防水材への適応下塗り

防水材種類	適応下塗り
ゴムシート防水材	アクアボウスイプライマー
アスファルトシート防水材	スズカアルマシーラー アスファルトシーラー

※既存シート防水材に上塗材が塗装されている場合、事前に付着性の確認を行い、下塗りを省略することができます。

● 色 相 : 標準色

注) 印刷見本ですので、
現物とは若干の色差があります。



ECOグレー

ECOライトグレー

ECOグリーン

● 荷 姿

	商品名	容 量	系統
トップコート	水性ボウスイトップCOOL	15kgセット(主剤13kg・硬化剤2kg)	水 系
		3kgセット(主剤2.6kg・硬化剤0.4kg)	
防水材	ワンツボウスイECO	18kgセット(A剤6kg・B剤12kg)	溶剤系
プライマー	水性ボウスイプライマーECO	16kgセット(A剤8kg・B剤8kg)	水 系
	スズカボウスイプライマー	15kg・7kg・2kg	溶剤系
	ボウスイプライマーECO	16kg	溶剤系
	アクアボウスイプライマー	15kg・3kg	水 系
	スズカアルマシーラー	13.5kgセット(主剤10kg・硬化剤3.5kg)	水 系
	アスファルトシーラー	16kg	溶剤系

塗装上の注意事項

- 下地(防水層)の破断・ふくれ・剥離・減耗など劣化の著しい場合には、防水層自体の改修を行ってください。
- 各種防水材のトップコート塗替えに水性ボウスイトップCOOLを使用する場合、事前に試し塗りをを行い、付着性を必ず確認してください。また、下地調整は十分行ってください。
- 他社メーカーのウレタン防水材のトップコートとして使用する場合、事前に必ず試し塗りをを行い、付着性、表面粘着、ブリード等の異常がないことを確認してから塗装してください。
- 既存塗膜がシリコン樹脂系・ふっ素樹脂系塗料の場合、またはシルバー色仕上げの場合は塗装を避けてください。
- タールウレタン防水材の場合、アスファルトシーラーでも、ブリードを生じることがありますので、塗装を避けてください。
- カラーゴムシートへの塗装は避けてください。
- 塗装する前に被塗面の埃、油分などを十分に除去してください。
- 下地(防水層)は、十分に乾燥させてください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 強風時、降雨・降雪・結露が予想される時は、塗装を避けてください。
- 塗料は均一にかくはんしてからご使用ください。また泡をまき込まないようにご注意ください。
- 気温により可使時間は異なります。可使時間以内に使い切ることができる量で調整してください。
- アスファルトシーラーは、かくはんし、そのまま塗装してください。塗装後十分に乾燥させ、仕上塗料を塗装してください。
- 尚、塗装具の洗浄には、スズカシンナー#2000をご使用ください。
- 塗膜乾燥初期の降雨により、塗膜から界面活性剤が溶出し、雨水が集中する箇所での泡の発生、COD値上昇の可能性がります。雨水が河川に流入するおそれがある場合、地域の排水基準に則した管理を行ってください。
- 低温または高湿度などの気象条件下では、塗膜の乾燥が遅れるため、降雨の影響を受けない施工計画を立ててください。

取扱い上の注意事項

- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
・防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
- 容器から取り出すときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだときには、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。
特に下記場所の保管は避けてください。
・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所(5℃以下)など
- 捨てるときは、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要なときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。

溶剤系塗料を用いる場合は、上記の取扱い上の注意事項と、下記事項を合わせて、注意してください。

- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気を良くし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないように必ず保護具を着用してください。
- 取扱い作業所には、局所排気装置を設けてください。
- 取扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
・有毒ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
- 臭いは食料品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざける、または養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から取り出すときには、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器、粉末消火器を用い初期消火をしてください。

○このカタログに記載以外の下地や仕様で塗装される場合は塗膜欠陥をおこすことがありますので使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。



スズカファイン株式会社

営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1

☎ 059-397-2187 FAX 059-397-6191
☎ 059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店



URL <http://www.suzukafine.co.jp/>

□ 本カタログの内容は、改良などのため、予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

18/06